ゆめっせ通信

2021年３月15日 発行
No.18
田川市男女共同参画センター
電話0947-85-7134

ゆめっせフェスタ2021

男性学の視点から男女共に生きやすい社会を考える

講師　**田中　俊之**さん
大正大学心理社会学部准教授

プロフィール
1975年、東京都生まれ。
男性学の第一人者としてメディアでも活躍する他、厚生労働省イクメンプロジェクト推進委員会委員など男女共同参画の推進に取り組んでいる。
※男性学とは「男性が男性だから抱えてしまう問題」を扱う学問のこと。例えば、働きすぎ、自殺、そして、結婚難などが挙げられる。

【著書】
男子が10代のうちに考えておきたいこと（岩波書店）
男が働かない、いいじゃないか！（講談社）
【共著】
小島慶子 × 田中俊之：不自由な男たち―その生きづらさは、どこから来るのか（祥伝社）

とき　**6月20日(日)**
14:00～(13:00開場)

ところ　**田川文化センター**

託児・手話通訳あります
※事前にお申込みください。
●申込期間　５月10日(月)～６月14日(月)
●問い合わせ　田川市男女共同参画センター(☎85-7134)

地域貢献活動評価項目の対象となる講演会です。

入場無料
(申込先着順)

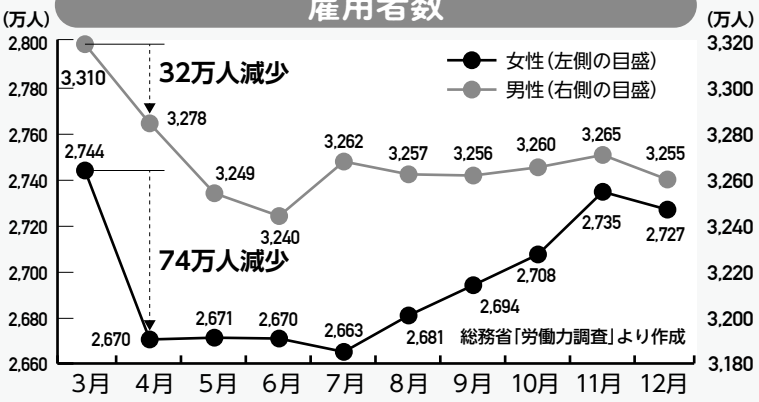
※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、日時・内容等の変更または中止となる場合があります。

目次

ゆめっせフェスタ2021 …… 1
コロナ禍で女性への影響 …… 2
DV相談プラス …… 2
出前講座 …… 3
就職サポートセミナー …… 3
デートDV予防講座 …… 4
女性に対する暴力をなくす運動 …… 4
女性人材バンク登録募集 …… 4
編集後記 …… 4

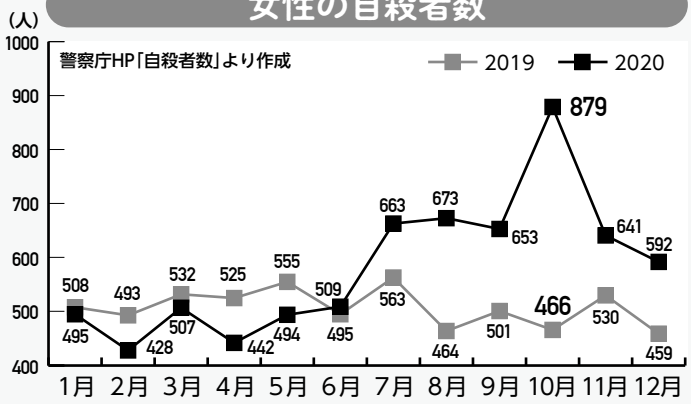
コロナ禍で女性への影響が広がっています

雇用者数



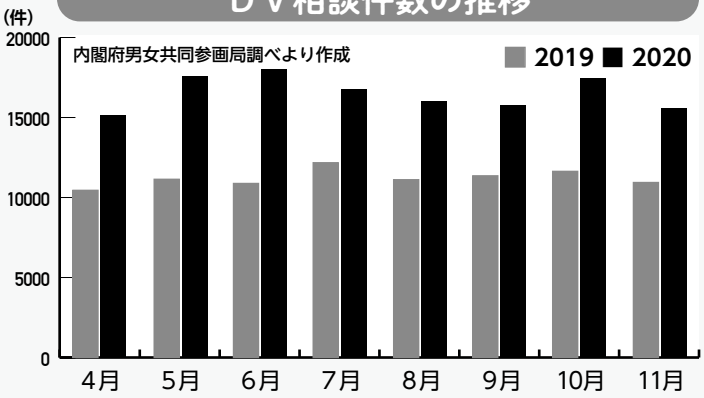
新型コロナウイルス感染拡大が女性の生活や雇用に与える影響を議論する内閣府の有識者研究会は昨年11月19日に緊急提言を提出しました。特に女性への影響が深刻で、仕事を失う人の多さから「女性不況」とも言われています。女性就業者数が多いサービス産業等が受けた打撃は極めて大きく、厳しい状況です。４月には非正規雇用労働者の女性を中心に就業者数が対前月で男性の倍となる約70万人の減少となり、女性の非労働力人口は男性の２倍以上に増加しました。

女性の自殺者数



ＤＶや性暴力の増加・深刻化、予期しない妊娠の増加が懸念され、10月の女性自殺者数は879人で、前年同月と比べ増加率は８割強にも上ります。

ＤＶ相談件数の推移



ＤＶ相談件数の推移を見ると、2020年４月から11月の相談件数は、13万2,355件で、前年同期の約1.5倍となっています。既に昨年度全体の相談件数（11万9,276件）を大きく上回っています。

まとめ　シングルマザーからは、収入の減、生活が苦しいとの切実な声が上がっています。医療・介護・保育の従事者などには、女性が多く、処遇や労働環境が厳しいなか、感染症による差別も報告されています。昨年の緊急事態宣言下の休校・休園は生活面、就労面において特に女性に大きな負の影響をもたらしました。女性の家事、育児等の負担増に留意するとともに、テレワークの導入が困難な職業に従事する方々の状況をしっかり受け止める必要があります。

こうした状況を踏まえ、当研究会は緊急提言の中で、「ＤＶや性暴力、自殺の相談体制の強化」「女性の就労などに配慮した子どもの休校・休園の判断」「ひとり親への支援」などについて、自治体や民間企業等の協力を得て進めていくことを求めました。

新型コロナウィルス感染拡大により、ＳＤＧＳ（持続可能な開発目標）の目標の一つであるジェンダー平等は世界全体で実現が難しい状況にあります。ジェンダー平等の視点からの対策が急務となっています。

ＤＶ相談＋（プラス）について

内閣府はＤＶを電話・メール・ＳＮＳ等で相談できる「ＤＶ相談＋（プラス）」を開始しました。

●**電話相談（24時間対応）**0120－279－889（つなぐ・はやく）

●**ＳＮＳ相談（正午～午後10時）、メール相談（24時間対応）**
ＤＶ相談＋（プラス）のホームページ（https://soudanplus.jp/）からアクセス
対応言語：英語、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語

● **ＷＥＢ相談**　相談状況に応じて対応

★従来の電話相談窓口「ＤＶ相談ナビ」＃8008（はれれば）もご利用いただけます。
発信地等の情報から最寄りの相談機関の窓口に電話が自動転送され、直接ご相談いただくことができます。

出前講座をタイアップで実施

人権・同和対策課には人権・同和対策係と男女共同参画推進室（男女共同参画センター）の２つの係があり、人権・同和問題や男女共同参画について、地域や企業等に出向いて、それぞれが出前講座を実施してきました。今年度は、２つの係が合同で２部形式の出前講座を実施し、より多くの方々に学習の場を提供することを目標に掲げ、５回実施することができました。

依頼のあった企業等の方々には、新型コロナウィルス感染予防のための対策（手指の消毒や換気、検温など）にご協力いただき、ありがとうございました。

男女の人権尊重は「男女共同参画社会基本法」の基本理念の一つです。高齢者問題や、少子化問題、子育て、介護、防災など、すべて男女共同参画の視点で見ることが大切です。今後も男女共同参画センターでは、人権の尊重及び性別役割分担意識の解消に向けて、市民の皆さんへ様々な情報をお届けします。

男女共同参画出前講座　募集中

「男女共同参画ってなに？なぜ必要？」「イクメン、イクボスって？」「ワーク・ライフ・バランスについて知りたい！」「固定的性別役割分担意識って？」

田川市男女共同参画センターでは、市民のみなさんに楽しく男女共同参画について学んでいただくために、出前講座を実施しています。地域やサークルの学習会や職場の研修等にお気軽にご利用ください。

対　　象：田川市に在住、通勤、通学されている概ね10人以上の団体
日　　時：平日の午前９時から午後９時までの間で２時間以内
場　　所：田川市内。会場は申し込まれた団体でご用意ください。
講　　師：田川市男女共同参画センター長
講 師 料：無料
申込方法：受講希望日の１か月前までにご連絡ください。

なお、人数、日時については、上記に当てはまらなくても対応できますのでご相談ください。別の会議等と組み合わせたミニ講座も開催できます。
※出前講座の実施は、地域貢献活動評価項目の対象です。

就職サポートセミナー

私の怒りと賢く付き合う

怒りで後悔しない！子育てに必要なアンガーマネジメント

県と共催で、11月26日(木)に開催し、13人が参加しました。講師には、マルプロ代表の丸山啓太さんをお迎えし、生活するうえで必要な感情のコントロールについての話を非常にわかりやすくお話していただきました。なかでも、「怒ること自体は悪いことではない。怒る基準を自分で決め、相手には自分の理想を押し付けず、相手へのリクエストとして上手に怒ることで、より良い人間関係が作れる。」と言われていたことが印象的でした。

参加者の声

○気づきがたくさんあった。日頃イラッとすることが多いので、まずは６秒待つことから始めたい。
○子育てに必要というより、人生において必要なアンガーマネジメントだった。
○上手に人へ気持ちを伝えることを心掛けたい。
○怒りに対するマイナスイメージが払拭された。家庭や仕事でイラッとした時に実践したい。

「デートDV予防講座」を実施しました

本市では、毎年、福岡県立大学看護学部で「デートＤＶ予防講座」を実施してきましたが、今年度は、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、実施が困難となったため、今回、12月３日(木)に同大学人間社会学部で開催し、20人が参加しました。

毎回、北九州市で「困難を抱える子どもと女性のための支援センター」を運営しているＮＰＯ法人ＦＯＳＣ理事長の野口真理子さんを講師にお迎えし、豊富な実体験に基づいた講話をお願いしていますが、参加者からは、新たな気づきや学びとなり役立つという感想をいただき、意義のある講座となりました。

あなたも人材バンクに登録しませんか？

田川市女性人材バンクの登録者を募集しています。

田川市では、女性のアイデアや考えを市政に反映させるため、市が設置する審議会や委員会などの委員に女性の登用を進めています。

●対象者
○市内に在住、在勤、在学する20歳以上の女性
○市政に関心があり、本市の審議会などの委員として活動する意欲がある人
●活動内容
○市の政策･方針などの決定過程となる附属機関（審議会・委員会・協議会など）の委員の候補者となります。
○各分野（「人権・男女共同参画」「福祉・医療・健康」「生活環境･まちづくり」「教育（学校、家庭、生活)」「文化・スポーツ」など）において知識や関心のある、または活動している女性が登録し、審議会などの会議の場に参画しています。

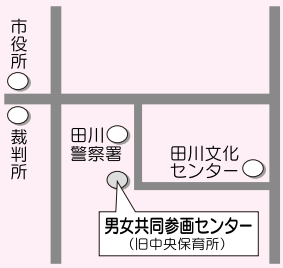
女性人材バンクの状況（令和３年１月 31 日現在）
登録人数　75人　審議会などの登用人数　43人

女性に対する暴力をなくす運動 特設コーナーを設置しました。

国では、毎年11月12日から25日までの２週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間としています。
本市では、この期間に合わせて、今年も田川市立図書館に特設コーナーを設置し、関連書籍50冊の紹介やＤＶ防止及び女性相談窓口の紹介ポスター等の掲示を行いました。今年は、たくさんの人に見ていただけるように、市役所にも特設コーナーを設置しました。この運動に賛同する来館（庁）者には、パープルリボンをツリーに飾り付けるなど、参加型の展示も併せて行いました。来館（庁）者の方にＤＶ防止について考えてもらうよいきっかけとなったと思います。

また、男女共同参画センターでは、市のマスコットキャラクター「たがたん」がパープルリボンをつけ、この運動に参加しました。

編集後記

新型コロナウィルス感染拡大により、働き方や教育など環境が大きく変化し、生きづらさを感じている人が多いことと思います。こんな時だからこそ、皆さんにより多くの情報を届けたいと考えています。昨年中止したゆめっせフェスタ、今年も引き続き田中俊之さんに講師をお願いしています。実行委員の皆さんと協力して、感染予防に十分留意して実施方法を工夫し、進めていきたいと思っています。（鶴）

編集･発行　田川市男女共同参画センター
〒826-0032　田川市平松町3番36号
電　話　0947－85－7134
ＦＡＸ　0947－44－0888
E-mail：danjo@lg.city.tagawa.fukuoka.jp
Ｈ　Ｐ：http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/list00794.html
印　刷　㈲川崎印刷